

公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会 平成26年度事業報告

I 概況と総括

- ・平成9年の法人設立から18年目の年度、公益社団法人としての2年目の年度を終了
- ・シェアリングネイチャーの普及と周知をはかるため、シェアリングネイチャー普及委員会を開催。ショルダーコピー、シェアリングネイチャーセミナー、ネイチャーゲームモデル園、シェアリングネイチャーサイト以上4つのアイデアの企画を進めた。
- ・ブロック単位での事業説明会を継続開催
- ・リーダー養成講座参加者数1100名超える（2009年以来5年ぶり）
- ・年度末会員数は前年度から微増

II. 会員数およびネイチャーゲームリーダー養成講座の推移

	平成26年度	平成25年度	平成24年度
年度末会員数	9,549名	9,521名	9,617名
会員更新率1	86.3%	86.3%	88%
養成講座回数	71回	58回	70回
登録者数/参加者数	1018名/1111名	852名/946名	1,035名/1,094名
3日間講座（参）	120名/14回/8.6名	190名/14回/13.6名	202名/15回/13.4名
2日間講座（参）	279名/23回/12.1名	241名/20回/12.1名	360名/27回/13.3名
出前講座（参）	99名/7回/14.1名	32名/3回/10.6名	131名/9回/14.5名
課程認定校（参）	541名/23回/23.5名	483名/21回/23名	401名/19回/21.1名

III. 都道府県組織

都道府県シェアリングネイチャー協会	45協会	未設立県	鳥取県、島根県
地域ネイチャーゲームの会	199会		
課程認定校ネイチャーゲーム研究会	9会		

IV. 外部広報/講師派遣等

展示/出展	3件（みどりフェスタ、エコプロダクツ、日本保育学会）
取材	メディア掲載10件（NHK名古屋放送、テレビ神奈川、ベイFMラジオ、読売新聞、朝日新聞、ベネッセコーポレーションなど）
引用承認等	引用申請1件 / 写真貸出0件 / ロゴ使用申請10件
ウェブ広報	各種情報発信ページを作成・更新
講師派遣	10回
受託行事	1件（行事5回 横浜市）

V. 平成26年度の重点項目に対する結果

重点項目	結果
<p>1.会員数の拡大 リーダー養成講座の開催条件を見直し、少人数でも講座を開催しやすくする。これにより、出前講座開催会場数を伸ばし、また、中止となる講座を減少させることにつなげ、会員数の拡大をはかる。</p>	<p>都道府県組織の協力を得ながら、全国でリーダー養成講座を開催した結果として、1111名の参加者を募り、1018名のリーダーを養成することができた。年度末会員数は、前年度に比べて微増となる9549名となった。</p>
<p>2.シェアリングネイチャーについての研究と普及 専門委員会を設置して、社会のためにあるべきシェアリングネイチャーについての研究を行うとともに、新しい組織名称でもある「シェアリングネイチャー」を広報し、認知度の増加をはかる。</p>	<p>シェアリングネイチャー普及委員会を開催した。委員会での話し合いを踏まえて、ショルダーコピー、シェアリングネイチャーセミナー、ネイチャーゲームモデル園、シェアリングネイチャーサイト、以上4つのアイデアについての企画を検討、実施した。</p>
<p>3.経営安定化を目指した取り組みの検討 経営安定化に向けた事業の整理、資金獲得、事業多角化についての具体的な方策を検討、実施していく。</p>	<p>事業多角化の視点では、シェアリングネイチャーとの関連分野をテーマにしたセミナー（緑の医学）や、年間を通した研修セミナー（ネイチャーゲーム大学）を新たな試みとして実施した。また、自然体験活動指導者が幅広く使うことのできるグッズ（ビックシェアシート）を開発した。資金獲得を目指した活動は十分にはできていない状況である。</p> <p>さらに、関連して、職員の定年退職を想定して、各事業が滞らないように、大幅な役割のシフトと今後の計画の検討を開始した。</p>
<p>4.中期経営計画の周知と推進 中期経営計画は三者（日本協会事務局、地域組織、会員）が3つの柱についてそれぞれ取り組む内容だが、周知が不十分であることから、組織や会員への周知をはかるとともに、目標達成に向けた取り組みを推進していく。</p>	<p>中期経営計画をホームページにアップ。また、中期経営計画推進委員会を開催し、これまでの取り組みを評価。進捗状況をロードマップに記載し、あわせてホームページにアップして共有をはかった。しかしながら、まだまだ周知は十分とは言えない状況である。</p>

VI.事業

シェアリングネイチャー活動を普及することにより、人が自然を尊重し共生していく社会の実現を目指す事業を実施する。

<シェアリングネイチャー活動普及のための体験会と情報提供>

【各種体験会、講習会等の開催】

- 01) 全国一斉シェアリングネイチャーの日
2014年10月19日 全国にて開催
- 02) 全国ネイチャーゲーム研究大会
2014年6月6～8日（福島） 142名（参加者とスタッフ合計）
- 03) 教員免許状更新講習
2014年8月6～8日（東京） 58名
- 04) ネイチャーゲーム自然教室
2014年8月22～24日（長野県戸隠） 20名（大人7名 子ども13名）
- 05) シェアリングネイチャーセミナー
丸の内さえずり館 2回 25名
緑の医学 2回 11名
- 06) 講師派遣 10回
- 07) 体験カード&シール発行 継続して実施
- 08) ネイチャーゲーム事業保険加入 継続して実施
- 09) シェアリングネイチャーワールドワイドへの加盟 継続して実施
- 10) ネイチャーゲームおよび自然体験活動普及促進教材の制作販売 継続して実施
- 11) 教材カタログの制作頒布 継続して実施
- 12) アクティビティ・教材コース開発認定委員会 3回
認定新アクティビティ<森のかくれんぼ>
- 13) 地方組織開催事業支援 継続して実施
- 14) 地域支援委員会 メールでの情報交換実施
- 15) 中期経営計画推進委員会 1回
- 16) 助成金を活用しての組織支援 継続して実施
- 17) 地方組織連絡会議 全国6ブロックでの開催
- 18) シェアリングネイチャー普及委員会 4回
- 19) ネイチャーゲームセミナー（スポーツ振興くじ助成金活用）46会場

【情報誌やインターネットによる情報発信と広報活動】

- 01) 情報誌「シェアリングネイチャーライフ」発行（スポーツ振興くじ助成金活用）
6月 9月 12月 3月 4回
- 02) 普及用ツール作成（スポーツ振興くじ助成金活用）
パンフレット（高齢者施設向け、幼児保育者向け）、活動支援冊子
- 03) 広報（展示・イベント・取材対応・引用申請対応・写真貸し出し）継続して実施
- 04) ホームページ等を活用した情報発信支援 継続して実施
- 05) 事例研究の募集と公開 継続して実施

<シェアリングネイチャー活動推進のための指導者養成>

【指導員養成】

- 01) 日本協会主催リーダー養成講座 4回 72名
- 02) 都道府県協会主催リーダー養成講座 37回 (2日/23回 3日/14回) 399名
- 03) 課程認定校リーダー養成講座 23回 541名
- 04) 出前養成講座 7回 99名
- 05) インストラクター認定講座 4回 (埼玉、兵庫、東京、宮崎) 30名
- 06) 講座講師認定講座 開催せず
- 07) トレーナー認定講座 1名応募 1次審査にて不合格
- 08) 指導者養成委員会 4回
- 09) 実践報告書添削 単位取得システムが変わったので実施せず
- 10) 登録システムの整備と運営 継続して実施
- 11) 指導者保険加入 継続して加入
- 12) コーディネーター認定審査

【指導員研修】

- 01) アドバンスセミナー

2014年 11月23～24日 (東京) 達人セミナー (東日本)	11名
2014年 12月20～21日 (東京) ウェルネスセミナー	10名
2015年 1月10～12日 (京都) 漢字の成り立ちセミナー	16名
2015年 2月7～8日 (兵庫) 達人セミナー (西日本)	8名
2015年 3月28日 (東京) 河原の石セミナー	25名

ネイチャーゲーム大学

- ①2014年 4月12日 (東京) 環境教育概論 12名
 - ②2014年 5月24日 (東京) 自然への畏敬の念 10名
 - ③2014年 7月26日 (東京) 子どもの発達心理学 18名
 - ④2014年 9月7日 (東京) ネイチャーゲームカウンセリング 15名
 - ⑤2014年 10月25日 (東京) 幼児期におけるネイチャーゲームの有効性 19名
 - ⑥2014年 11月29日 (東京) 世界遺産から身近な自然保護へ 8名
 - ⑦2015年 1月24日 (京都) ウェールズ (英) の環境教育プログラム 11名
 - ⑧2015年 1月25日 (京都) 自然体験型環境教育 11名
 - ⑨2015年 2月21日 (東京) 環境からみる自然史 11名
 - ⑩2015年 3月21日 (東京) 自然体験学習と野外教育・野外活動 7名
- 02) インストラクター研修講座
2015年 2月20～22日 (兵庫) 38名
 - 03) コーディネーター研修講座 ブロックでの事業説明会として実施6回
 - 04) トレーナー研修講座 (埼玉) 28名
 - 05) 公認指導者向け情報誌「自然案内人」発行 1回
 - 06) インストラクターニュースレター発行 2回
 - 07) コーディネーターニュースレター発行 1回

- 08) メーリングリストの運用
 - ①組織のためのメーリングリスト (TNET)
 - ②インストラクターのためのメーリングリスト (INET)
 - ③コーディネーターのためのメーリングリスト (CNET)
 - ④講座講師のためのメーリングリスト (KNET)
 - ⑤トレーナーのためのメーリングリスト (JNET)
- 09) 地方組織開催研修会支援
 - フォローアップセミナー 36会場
 - 自主企画セミナー 9会場
 - コーディネーター研修講座 0会場
- 10) 表彰審査委員会 1回
- 11) 組織運営のための資料集発行 1回
- 12) リーダー養成講座フレッシュアップ受講制度 30名
- 13) ネイチャーゲーム研究集会
2015年 3月7～8日 (熊本) 高齢者と福祉の実践的勉強会 8名